

再生骨材試験結果一覧表

工事名 \_\_\_\_\_ 測定年月日 令和6年2月2日

製造所 倉吉アスコン株式会社

種別 再生骨材(13~0mm) 試験者 田子三由生

試験項目		試験結果	再生骨材規格
粒度試験結果  pass (%)	19.0(mm)	100.0	—
	13.2	99.5	
	4.75	70.5	
	2.36	50.4	
	600(μm)	31.7	
	300	22.7	
	150	11.9	
	75	9.0	
旧アスファルト含有量 (%)	4.87	3.8 以上	
※1旧アスファルト針入度 (1/10mm)	25	(20 以上)	
洗い損失量 (%)	1.2	5 以下	
最大密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.511	—	
※2骨材密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.707	—	

備考

※1 マーシャル安定度試験方法による推定針入度  
再生骨材 1 3 - 0 の内 4.75mmふるい通過分を用いた。

※2 骨材密度は計算より求めた。

# アスファルトの抽出及びふるい分け試験（自動遠心分離法）

種 類 再生骨材 13-0

試 験 年 月 日 2024年 2月 2日

試 験 者 田子三由生

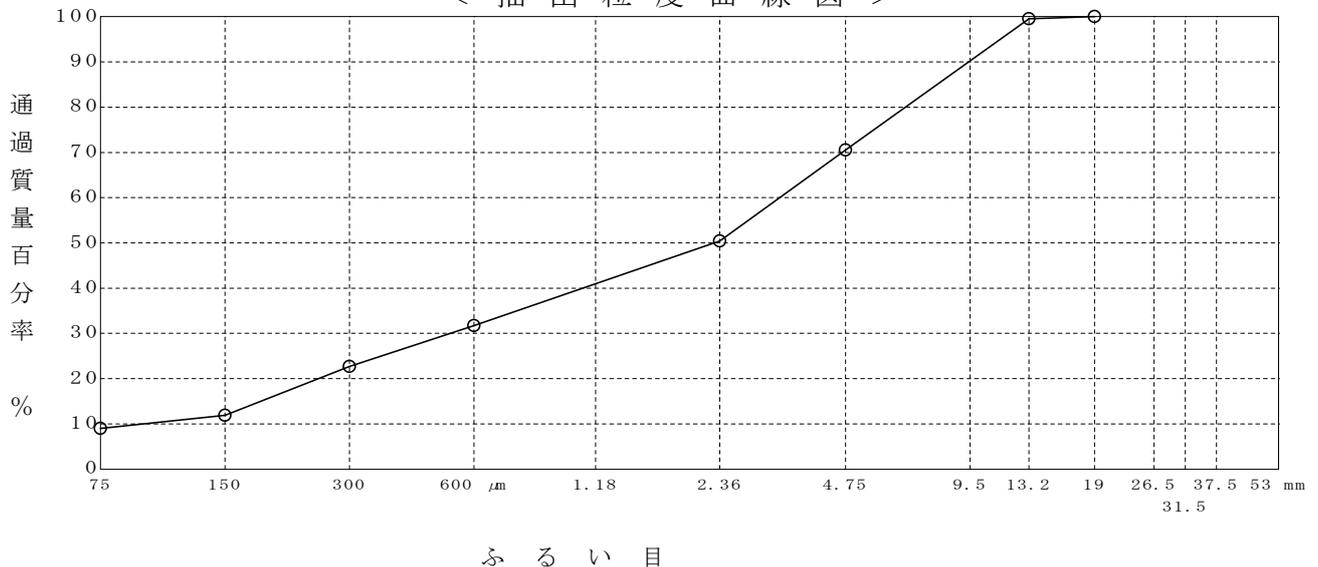
## ＜ 抽 出 試 験 ＞

		1	2	3	備 考
A	(試料+ろ紙+容器) 質量 (g)	5241.5			
B	ろ 紙 質 量 (g)				
C	容 器 質 量 (g)	4334.7			
D	試 料 質 量 (g)	A-B-C	906.8		
E	抽出後(試料+ろ紙+容器)質量 (g)	5197.3			
F	抽 出 骨 材 質 量 (g)	E-B-C	862.6		
G	ア ス フ ァ ル ト 質 量 (g)	D-F	44.2		
H	ア ス フ ァ ル ト 含 有 率 (%)	G/D×100	4.87		4.87

## ＜ 骨 材 ふ る い 分 け 試 験 ＞

ふるい目	1			2			3			平 均
	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19	0.0	0.0	100.0							100.0
13.2	4.3	0.5	99.5							99.5
9.5										
4.75	254.5	29.5	70.5							70.5
2.36	427.8	49.6	50.4							50.4
1.18										
600 μm	589.2	68.3	31.7							31.7
300	666.8	77.3	22.7							22.7
150	760.0	88.1	11.9							11.9
75	785.0	91.0	9.0							9.0

## ＜ 抽 出 粒 度 曲 線 図 ＞



--	--	--	--

ASTM-D 2041	<b>最大密度試験</b>	試験報告用紙
-------------	---------------	--------

種 類	再生骨材 13-0	試験年月日	2024年 2月 2日
		試験者	田子三由生

試験番号		1	2	3	容器のタイプ
① 試料+容器質量	(g)	3013.6	3004.9		A, B, C
② 容器質量	(g)	1455.4	1384.5		A, B, C
③ 試料質量	(g) ①-②	1558.2	1620.4		A, B, C
④ 試料+容器水中質量	(g)				A
⑤ 容器水中質量	(g)				A
⑥ 試料水中質量	(g) ④-⑤				A
⑦ 25℃水+試料+容器質量	(g)	3050.2	2928.9		B, C
⑧ 25℃水+容器質量	(g)	2111.4	1952.9		B, C
⑨ 試料の表乾質量	(g)				
最大密度 (g/cm <sup>3</sup> )	A	$\frac{③}{(③-⑥)} \times (A)$			
	B, C	$\frac{③}{(③+⑧-⑦)} \times (A)$		2.511	2.510
	平均値			2.511	

記事: 試験時の水温 20.0℃ 水の密度(A) 0.9982 g/cm<sup>3</sup>

--	--	--	--

JIS K 2207	旧アスファルト針入度試験	試験報告用紙
------------	--------------	--------

種	類 再生骨材 13-0	試験年月日	2024年 2月 2日	
		試験者	田子三由生	

測点	1	2	3	平均値
試験条件	25℃, 100g, 5秒 (1/10mm)			
針入度	25	25	25	25

測点	1	2	3	平均値
試験条件	25℃, 100g, 5秒 (1/10mm)			
針入度				

測点	1	2	3	平均値
試験条件	25℃, 100g, 5秒 (1/10mm)			
針入度				

測点	1	2	3	平均値
試験条件	25℃, 100g, 5秒 (1/10mm)			
針入度				

記事:				
-----	--	--	--	--

--	--	--	--

JIS A 1103	骨材の微粒分量試験	試験報告用紙
------------	-----------	--------

種	類	再生骨材 13-0	試験年月日	2024年 2月 2日
骨材の最大寸法		13.2 mm	試験者	田子三由生
			乾燥試料質量	2201.8 g

試験番号	式	1	2	3
①	水洗い前の試料質量	1125.3	1176.5	
②	水洗い後の試料質量	1112.3	1162.0	
③	流出した試料質量	③ = ① - ②	13.0	14.5
④	75 μmふるいを通す量の百分率	③/①×100	1.2	1.2
	平均値	1.2		
⑤	洗い水から得られる残留物の乾燥質量			
⑥	検算	⑤/①×100		
	平均値			

備考：

骨材試験結果一覧表

工事名 \_\_\_\_\_ 測定年月日 令和6年 2月 2日

工事場所 \_\_\_\_\_

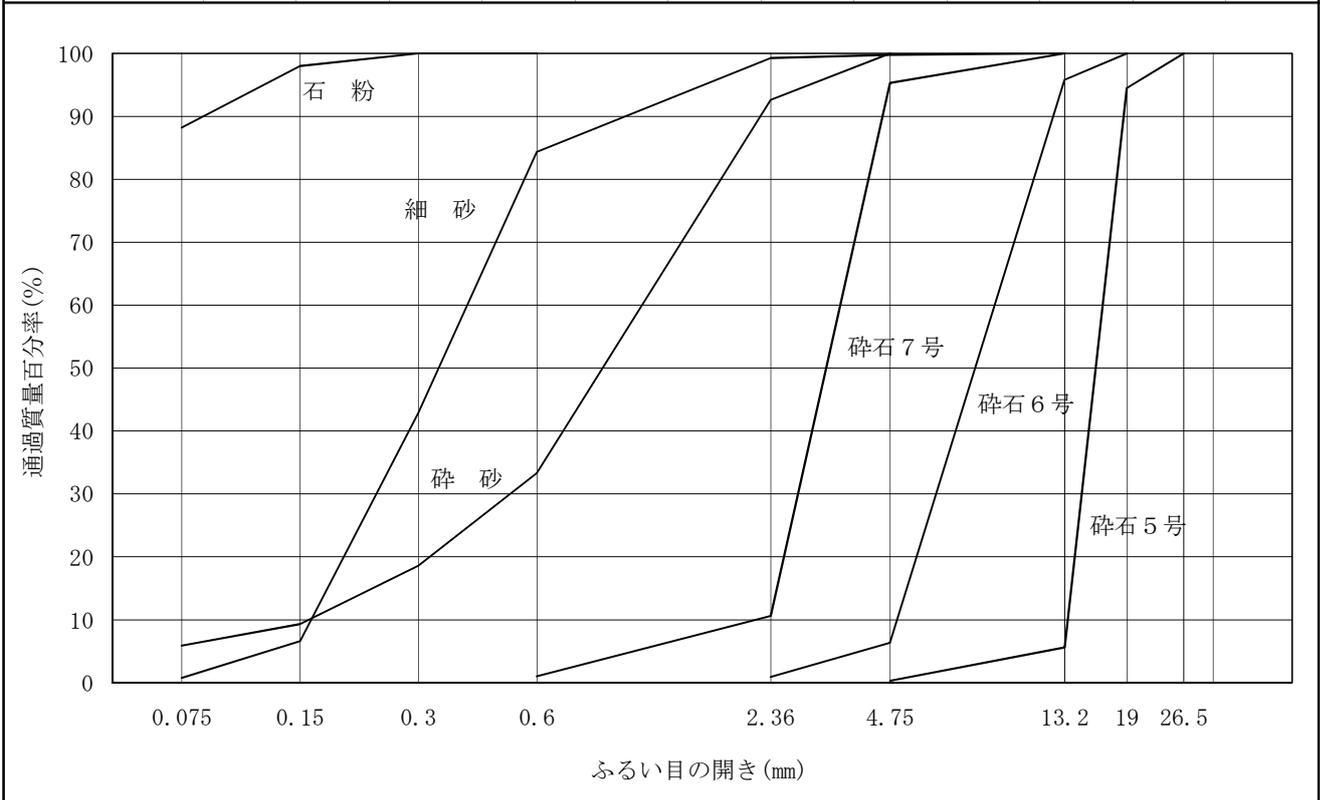
用途 アスファルト混合物用 試験者 田子 三由生

試験項目	碎石5号	碎石6号	碎石7号	砕砂	細砂		石粉
粒度試験結果 pass (%)	26.5(mm)	100.0					
	19.0	94.5	100.0				
	13.2	5.6	95.8	100.0		100.0	
	4.75	0.3	6.3	95.3	100.0	99.8	
	2.36		0.9	10.6	92.6	99.2	
	600( $\mu$ m)			1.0	33.3	84.3	
	300				18.6	42.9	100.0
	150				9.3	6.6	98.0
	75				5.9	0.8	88.2
密度 ( $g/cm^3$ )	表乾	2.687	2.674	2.646	2.662	2.503	
	かさ	2.668	2.650	2.604	2.628	2.453	
	見掛	2.720	2.718	2.721	2.723	2.582	2.70
吸水率 (%)	0.71	0.95	1.65	1.30	2.03		
すり減り量 (%)		12.3					
単位容積質量 ( $g/cm^3$ )	1.580	1.558	1.497	1.688	1.612		
粘土塊質量 (%)	0.01	0.01					
細長扁平骨材含有量(%)	1.6	2.4					
安定性試験損失量 (%)	1.0	1.5	1.6	2.7	2.3		
骨材軟石質量(%)	0.4	0.5					
石粉の水分 (%)							0.01
産地	岡山県久米郡久米南町				鳥取県北栄町		新見市足立

備考

工事名	測定年月日
	令和6年 2月 2日
工事場所	
用途	試験者
アスファルト混合物用	田子 三由生

材料名	砕石5号		砕石6号		砕石7号		砕砂		細砂	
試料質量	5798.5		2383.5		1735.2		1354.3		1305.6	
ふるい目	残留量	通過率								
26.5(mm)	0.0	100.0								
19.0	319.0	94.5	0.0	100.0						
13.2	5474.1	5.6	99.8	95.8	0.0	100.0			0.0	100.0
4.75	5781.1	0.3	2233.2	6.3	81.7	95.3	0.0	100.0	3.2	99.8
2.36			2362.0	0.9	1551.2	10.6	100.1	92.6	9.8	99.2
600(μm)					1717.8	1.0	903.1	33.3	204.5	84.3
300							1102.6	18.6	745.5	42.9
150							1227.8	9.3	1219.5	6.6
75							1274.7	5.9	1295.4	0.8



様式-2	粗骨材の密度および吸水率試験報告書	JIS A 1110
------	-------------------	------------

工事名	測定年月日	令和6年 2月 2日
工事場所		
用途	アスファルト混合物用	試験者
		田子 三由生

試料番号	砕石5号		砕石6号		砕石7号	
	1	2	1	2	1	2
表乾試料+容器質量 (g)	—	—	—	—	—	—
容器質量 (g)	—	—	—	—	—	—
表乾試料質量 (g)	3555.1	3467.3	2707.3	2552.2	1609.1	1835.8
(籠+試料)水中質量 (g)	—	—	—	—	—	—
籠の水中質量 (g)	—	—	—	—	—	—
試料の水中質量 (g)	2233.9	2176.4	1697.4	1596.6	1002.5	1141.3
表乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.689	2.685	2.679	2.669	2.651	2.642
平均値	2.687		2.674		2.647	
乾燥後の試料質量 (g)	3530.4	3442.5	2682.5	2527.6	1583.1	1805.9
かさ密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.671	2.665	2.655	2.644	2.608	2.599
平均値	2.668		2.650		2.604	
見掛密度 (g/cm <sup>3</sup> )	2.722	2.718	2.722	2.714	2.725	2.716
平均値	2.720		2.718		2.721	
吸水率 (%)	0.70	0.72	0.92	0.97	1.64	1.66
平均値	0.71		0.95		1.65	

備考
試験時の水温 <u>12</u> °C
水の密度 <u>0.9995</u> g/cm <sup>3</sup>

工事名 \_\_\_\_\_ 測定年月日 \_\_\_\_\_ 令和6年 2月 2日

工事場所 \_\_\_\_\_

用途 \_\_\_\_\_ アスファルト混合物用 \_\_\_\_\_ 試験者 \_\_\_\_\_ 田子 三由生

試料番号	砕砂		細砂			
	1	2	1	2		
フラスコ番号	—	—	—	—		
(フラスコ+試料)質量(g)	686.6	688.1	691.0	680.3		
フラスコ質量(g)	181.9	179.1	181.9	179.1		
試料質量(g)	504.7	509.0	509.1	501.2		
(フラスコ+試料+水)質量(g)	997.3	997.2	988.1	980.2		
加えた水の質量(g)	310.7	309.1	297.1	299.9		
表乾密度(g/cm <sup>3</sup> )	2.661	2.662	2.505	2.500		
平均値	2.662		2.503			
乾燥後の試料質量(g)	498.2	502.5	499.1	491.1		
かさ密度(g/cm <sup>3</sup> )	2.627	2.628	2.455	2.450		
平均値	2.628		2.453			
吸水量(g)	6.5	6.5	10.0	10.1		
見掛密度(g/cm <sup>3</sup> )	2.720	2.720	2.583	2.580		
平均値	2.720		2.582			
吸水率(%)	1.30	1.29	2.00	2.06		
平均値	1.30		2.03			

備考

試験時の水温 \_\_\_\_\_ 20 \_\_\_\_\_ °C

水の密度 \_\_\_\_\_ 0.9982 \_\_\_\_\_ g/cm<sup>3</sup>

様式-4	粗骨材のすり減り試験報告書	JIS A 1121
------	---------------	------------

工事名	測定年月日	令和6年 2月 2日
工事場所		
用途	アスファルト混合物用	試験者
		俵 慎也

1. 試験前の骨材粒度

ふるい目(mm)	1.7	2.36	4.75	9.5	13.2	19	26.5
粒度pass(%)			0.0		100.0		

2. すり減り試験結果

試料番号	試験前試料質量(g)	試験後1.7mmふるいに残った試料質量(g)	すり減り損失質量(g)	すり減り減量(%)	試験機回転数(回)
1	5000	4392	608	12.2	500
2	5002	4380	622	12.4	500
平均				12.3	

備考

すり減り損失質量=試験前の試料質量-試験後1.7mmふるいに残った試料質量

すり減り減量(%)=すり減り損失質量÷試験前の試料質量×100

様式-5		骨材の単位容積質量試験報告書				JIS A 1104	
工事名		測定年月日				令和6年 2月 2日	
試験方法		標準					
用途		アスファルト混合物用		試験者		田子 三由生	
試料名	番号	容器+試料質量 (g)	容器質量 (g)	試料質量 (g)	容器容積 (cm <sup>3</sup> )	単位容積質量 (g/cm <sup>3</sup> )	
		①	②	③=①-②	④	③/④	
砕石5号	1	22052	6215	15837	10000	1.584	
	2	21978	6215	15763	10000	1.576	
	平均					1.580	
砕石6号	1	21819	6215	15604	10000	1.560	
	2	21771	6215	15556	10000	1.556	
	平均					1.558	
砕石7号	1	4087	1092	2995	2000	1.498	
	2	4081	1092	2989	2000	1.495	
	平均					1.497	
砕砂	1	4474	1092	3382	2000	1.691	
	2	4462	1092	3370	2000	1.685	
	平均					1.688	
細砂	1	4311	1092	3219	2000	1.610	
	2	4317	1092	3225	2000	1.613	
	平均					1.612	
	1						
	2						
	平均						
備考							

様式-6	骨材中に含まれる粘土塊質量の試験報告書			JIS A 1137
工事名		測定年月日 令和6年 2月 2日		
工事場所				
用途		アスファルト混合物用		試験者 田子 三由生
試料名	番号	試験前の乾燥質量 (g)	試験後の乾燥質量 (g)	粘土塊質量 (%)
		①	②	$(①-②)/① \times 100$
砕石5号	1	3048.5	3048.2	0.01
	2	3184.7	3184.3	0.01
	平均			0.01
砕石6号	1	1077.4	1077.3	0.01
	2	1067.0	1066.9	0.01
	平均			0.01
	1			
	2			
	平均			
	1			
	2			
	平均			
	1			
	2			
	平均			
備考				

様式-7	骨材の形状試験報告書		舗装試験法便覧
工事名		測定年月日 令和6年 2月 2日	
工事場所			
用途 アスファルト混合物用		試験者 田子 三由生	
試料名	細長いあるいは扁平と判定された骨材の質量 (g)	細長いあるいは扁平と判定されなかった骨材の質量 (g)	細長いあるいは扁平な骨材の含有量 (%)
	M1	M2	M1 / (M1 + M2) × 100
砕石 5号	17.9	1078.7	1.6
砕石 6号	24.4	1000.3	2.4
備考			

様式-8-1		骨材の安定性試験報告書				JIS A 1122	
工事名		測定年月日		令和6年 2月 2日			
工事場所		用途		アスファルト混合物用			
溶剤の種類		硫酸ナトリウム溶液		繰返し回数		5回	
溶剤の比重		1.164		試験者		田子 三由生	
試料名	篩の寸法で区分した群の粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤
	通る篩	留まる篩	各群の質量百分率 (%)	試験前の各群の試料質量 (g)	試験後の各群の試料質量 (g)	各群の試料の損失質量百分率 (%)	各群別骨材の損失質量百分率 (%)
						$(1-③)/② \times 100$	$① \times ④ / 100$
砕石5号	26.5	19.0	5.5	1046.9	1044.1	0.3	0.0
	19.0	13.2	88.9	788.7	780.1	1.1	1.0
	13.2	4.75	5.3	544.9	541.8	0.6	0.0
	4.75	2.36					
	合計				骨材の損失質量百分率 (%)		
砕石6号	19.0	13.2	4.2	—	—	1.4	0.1
	13.2	4.75	89.5	513.6	506.4	1.4	1.3
	4.75	2.36	5.4	203.0	199.3	1.8	0.1
	2.36	0.6					
	合計				骨材の損失質量百分率 (%)		
砕石7号	13.2	4.75	4.7	—	—	1.5	0.1
	4.75	2.36	84.7	217.1	213.9	1.5	1.3
	2.36	0.6	9.6	106.1	103.7	2.3	0.2
	0.6	0.3					
	合計				骨材の損失質量百分率 (%)		
備考	19.0mmより大きい粒径の骨材数 <u>          </u> 個 試験後異常が認められた骨材数 <u>          </u> 個 破壊状況 全重量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。						

様式-8-2	骨材の安定性試験報告書	JIS A 1122
--------	-------------	------------

工事名	測定年月日	令和6年 2月 2日	
工事場所	用途	アスファルト混合物用	
溶剤の種類	硫酸ナトリウム溶液	繰返し回数	5回
溶剤の比重	1.164	試験者	田子 三由生

試料名	篩の寸法で区分した群の粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤
	通る篩	留まる篩	各群の質量百分率 (%)	試験前の各群の試料質量 (g)	試験後の各群の試料質量 (g)	各群の試料の損失質量百分率 (%)	各群別骨材の損失質量百分率 (%)
砕 砂	13.2	4.75					
	4.75	2.36	7.4	101.7	99.4	2.3	0.2
	2.36	0.6	59.3	104.2	100.6	3.5	2.1
	0.6	0.3	14.7	101.2	98.3	2.9	0.4
	合 計					骨材の損失質量百分率 (%)	2.7
粗 砂	13.2	4.75	0.2	—	—	4.1	0.0
	4.75	2.36	0.6	—	—	4.1	0.0
	2.36	0.6	14.9	109.2	104.7	4.1	0.6
	0.6	0.3	41.5	105.8	101.6	4.0	1.7
	合 計					骨材の損失質量百分率 (%)	2.3
細 砂	13.2	4.75					
	4.75	2.36					
	2.36	0.6	9.5	108.0	103.9	3.8	0.4
	0.6	0.3	45.8	109.1	104.1	4.6	2.1
	合 計					骨材の損失質量百分率 (%)	2.5

備 考

全重量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

様式-9	骨材の軟石量試験報告書	JIS A 1126
------	-------------	------------

工事名	測定年月日	令和6年 2月 2日
工事場所		
用途	アスファルト混合物用	試験者
		田子 三由生

試料名	篩の寸法で区分した群の粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤
	通る篩	留まる篩	各群の質量百分率 (%)	各群の試料質量および個数 (g) (個)	各群の軟石粒の質量および個数 (g) (個)	各群の軟石質量および個数百分率 (%)	軟石質量百分率 (%)
						③/②×100	①×④/100
砕石5号	26.5	19.0	5.5	—	—	0.4	0.0
	19.0	13.2	88.9	1075.5	4.0	0.4	0.4
	13.2	4.75	5.3	—	—	0.4	0.0
	4.75	2.36					
	合計				骨材の軟石質量百分率 (%)		0.4
砕石6号	19.0	13.2	4.2	—	—	0.6	0.0
	13.2	4.75	89.5	201.1	1.2	0.6	0.5
	4.75	2.36	5.4	—	—	0.6	0.0
	2.36	0.6					
	合計				骨材の軟石質量百分率 (%)		0.5
合計				骨材の軟石質量百分率 (%)			

備考

全重量の10%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。



Lot. No.

Date. 2024年 2月 1日

# 試験成績表

倉吉アスコン株式会社 御中

日進化成株式会社



品名：ニッシールGS

ポリマー改質アスファルト I 型

品質保証室	工場長	担当

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針 標準的性状
軟化点	°C	54.0	50.0以上
伸度(7°C)	cm	53	30以上
タフネス(25°C)	N・m	15.2	5.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	8.8	2.5以上
針入度(25°C)	1/10mm	60	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.07	0.60以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	75.0	65.0以上
引火点	°C	368	260以上
密度(15°C)	g/cm <sup>3</sup>	1.036	-

備考

室内配合設計時における推奨温度(°C)

混合温度範囲 : 165~185

締固め温度範囲: 155~165

Lot. No.

Date. 2024年 2月 1日

# 試験成績表

倉吉アスコン株式会社 御中

日進化 社



品名：エポックファルトD

ポリマー改質アスファルトII型

品質保証室	工場長	担当

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針標準の性状
軟化点	°C	67.0	56.0以上
伸度(15°C)	cm	100+	30以上
タフネス(25°C)	N・m	25.6	8.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	17.6	4.0以上
針入度(25°C)	1/10mm	52	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.05	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	73.1	65以上
引火点	°C	366	260以上
密度(15°C)	g/cm <sup>3</sup>	1.033	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C)		
	混合温度範囲 : 170~185		
	締固め温度範囲 : 160~170		

令和6年 2月 1日

御中



再生用添加剤試験成績表

品 名 R J - 1

2 月 代 表 性 状

試験結果 ( 試験報告日 令和 6 年 1 月 30 日 )

項 目	標準的性状	試 験 値	備 考
動粘度 (60℃) (mm <sup>2</sup> /S)	80~1,000	86.3	
引火点 °C	250 以上	258	
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2 以下	1.08	
薄膜加熱質量変化率 %	±3 以内	-0.72	

報 告 事 項

項 目	標準的性状	試 験 値	備 考	
組 成 分 析 (%)	アスファルテン	報告	0.1	
	飽和分	〃	30.9	
	芳香族分	〃	67.6	
	レジン	〃	1.4	
	回収率	〃	100.0	
密度 (15℃) g/cm <sup>3</sup>	〃	0.927		

